製造業におけるリスク及び損害

リスク分類	損害	リスク評価			リスク対策						
		発生頻度	大きさ	総合評価	回避	分散	予防	補完／予備	統合	容認	保有
火災リスク 爆発リスク	①財物の焼損（爆発リスクは火災リスクより損害は遙かに大きい）	小	大	II		○	○	○			
	②煙損（煙による損害）／設備、内装材等の汚損、半導体など特定製品の損傷、ガス中毒	小	大	II			○				
	③水漏れ損（消火放水による損害）／ＯＡ機器、精密機器の使用不可、製品の損傷	小	大	II			○				
	④休業損害	小	大	II			○				○
風水害リスク	①浸水による製品、生産機械の損傷	小	大	II		○	○	○			
	②風害による建物の倒壊	小	大	II			○				
	③交通手段、輸送手段の遮断による原材料の入手不可、製品納品不可	小	大	II			○				
	④休業損害	小	大	II			○				○
地震リスク	①建物の損傷・倒壊、設備の転倒	小	中	II			○				
	②地震後の二次災害（火災、津波、洪水）	小	中	II			○				
	③休業損害	小	中	II			○				
	④物流、輸送ルートの遮断	小	中	II			○				
落雷リスク	①直撃雷による損傷（スパークによる火災・爆発、設備の絶縁破壊、引火、システムダウン）	小	中	II			○				
	②雷サージによる損傷（通信・送信不能、データ・プログラムの破損、ロボットの暴走など）	小	中	II			○	○			
ＰＬリスク	①製品設計上の欠陥によるＰＬ賠償損害	中	中	I			○				○
	②製造上の欠陥によるＰＬ賠償損害／原材料・部品の欠陥、製造・作業方法欠陥、設備保全不良、従業員教育不	中	中	I			○				○
	③管理上の不備によるＰＬ賠償損害／文書管理、記録管理の不備、トレーサビリティ体制不備、責任体制の不備	中	中	I			○				○
製品リコールリスク	①製品リコールによる回収コスト発生	中	中	I			○				○
	②営業停止、消費者購買意欲低下等による売上げ減	中	大	I			○				○
	③刑事責任、賠償責任損失	中	中	I			○				○
	④株価下落、風評増大などによる事業継続不可能	中	大	I			○				○
知的財産権リスク	①特許権、実用新案権侵害による賠償責任	中	中	I			○				
	②特許権、実用新案権が侵害されることによる機会損失	中	中	I			○				
環境リスク	①土壌汚染・地下水汚染による損害賠償責任	中	中	III			○				
	②特定化学物質による環境影響に伴う損害賠償責任	中	中	III			○				
	③廃棄物処理委託管理先管理不足に伴う損害賠償責任	中	小	III			○				
労災リスク	①労働災害事故による損害賠償責任／刑事責任、民事責任、行政処分、社会的責任	中	中	III			○				
	②労災に伴う生産性低下	中	中	I			○				
情報セキュリティリスク	①ウィルス侵入、不正アクセスによる情報漏洩賠償責任、システムダウン	中	中	I			○				○
	②ソフトウェア破損によるシステムダウン	小	中	II			○				
	③ハードウェア破損によるシステムダウン	小	小	IV			○	○			
	④機密漏洩管理、人為的災害、操作ミスなど管理上の理由による損害	中	中	I			○				○
	⑤事業継続不可に伴う損害	小	大	II			○				○
	⑥個人情報漏洩に伴う損害賠償、風評損失	中	中	I			○				

移転／保険
○
○
○
○
○
○
○